

令和 7 年度におけるAUV利用実証事業の概要

内閣府 総合海洋政策推進事務局

事業の目的など

- 本事業は、こうした方針に沿ってAUVの利活用が期待される場面での実証試験を実施することで、社会実装に向けた制度環境の整備や、より実用的な製品の開発等につなげることを目的とするものです。
- ✓ 特に、今年度の募集においては、**AUV関連産業の発展の道筋を明らかにすることに焦点を当て**、以下の2つのカテゴリーの実証試験の目標を設定し、**実証試験とAUV官民プラットフォームの活動と連動**させることにより、**AUVの社会実装に向けた取組をより効果的・効率的に推進**することを目指します。

実証試験のねらいを明確化し、2つのカテゴリーの目標を設定

(1) 洋上風力発電施設の維持管理モデル構築

洋上風力発電施設の維持管理※におけるAUVの効果的・効率的な運用の形態・方法、必要とされる機能・性能、社会実装に向けた技術開発や課題解決等のステップを明らかにすることを目指すもの。

※ 洋上風力発電施設の維持管理については、関係法令、洋上風力発電設備の維持管理に関する統一的解説や関連ガイドライン等の現行のルールのほか、いわゆる予防保全を含む、今後の発展的な維持管理のあり方を対象とする。

(2) その他利用用途ビジネスモデル構築

(1)以外でのAUVの利用用途において、実現可能なビジネスモデルを導出することを目指すもの。

事業のポイント

- ✓ 採択件数： 3 件程度
- ✓ 委託金額： 上限 40百万円 /件
- ✓ 提案の内容：

【必須事項】

- 「早期のAUVの社会実装に向けたステップ」の一部を実証するものであること

その際、AUV以外の海洋ロボティクス（ROV等）を併用することが効果的・効率的であることが認められれば、AUV以外のアセットの活用も許容される。

- AUVの利用上の課題の抽出やその解決策の提示等といった、早期の社会実装に向けた複数のステップからなるAUV関連産業の発展の道筋の全体像を提案し、実施期間を通じてその全体像の具体化を図るものであること

利用用途に応じて社会実装の達成時期が異なることを考慮し、中長期的な展望（例えば、2030年と2040年時点の事業展開等）を見据え、ステークホルダーの関与を含む、実効性あるステップを描くことが期待される。全体像の具体化の要素として、次のような点が想定される。

- AUVの課題解決ツールとしての妥当性
- 効率化等の具体的な効果、可視化等の具体的な効果
- 目指す維持管理モデル、ビジネスモデル
- 中長期的な（例えば2030年と2040年）到達目標
- 到達目標を達成するための必要な要素と対応策
- 残された課題

【推奨事項】

- 共同チーム体制（海洋調査実施者、AUV等の所有者、潜在的利用者）
- AUV周辺技術との連携
- AI技術の活用
- 人材育成・人材確保
- スタートアップ等の参画

スケジュール

【令和7年】

4月4日

公募開始

5月14日

応募期限

～

一次審査、二次審査

6月10

採択公表

6月～12月

実証試験実施

【令和8年】

1月

成果報告会

